別紙3　点検表記録様式　　様式1（その1）

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	32° 50′ 41.83″
				経度	132° 57′ 05.25″
久百々橋 (フリガナ)クモモバシ	久百々中央線	土佐清水市下ノ加江久百々～土佐清水市下ノ加江久百々			

管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件（名称）
土佐清水市	2017.1.13	河川	－	一般道	その他	上水道

部材単位の診断（各部材毎に最悪値を記入）

点検者	株式会社ワタリコンサルタント	点検責任者	浜田大輔

点検時に記録					措置後に記録		
部材名		判定区分 （Ⅰ～Ⅳ）	変状の種類 （Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等が分かるように記載）	措置後の判定区分	変状の種類	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅳ	剥離・鉄筋露出	径間1,2：主桁　写真1～6			
	横桁	Ⅱ	漏水・遊離石灰	径間3：横桁03　写真7			
	床版	Ⅱ	剥離・鉄筋露出、漏水・滞水	径間2,3：床版　写真8,9			
下部構造		Ⅱ	漏水・滞水	径間3：P2、A2　写真10,11			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断（判定区分Ⅰ～Ⅳ）

点検時に記録		措置後に記録	
（判定区分）	（所見等）	（再判定区分）	（再判定実施年月日）
Ⅳ	主部材に広範囲に鉄筋露出が生じており、一部鋼材の破断も確認できる。また塩害環境下の橋梁のため緊急に措置をとる必要がある。		

全景写真（起点側、終点側を記載すること）

架設年次	橋長	幅員
1933年	40m	3.80m

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）
〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の
〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造（主桁）【判定区分：　Ⅳ　】	上部構造（主桁）【判定区分：　Ⅲ　】
写真 1 主筋、スターラップの破断（主桁01、径間1）	写真 2 広範囲に広がる鉄筋露出(主桁01、径間1）
上部構造（主桁）【判定区分：　Ⅳ　】	上部構造（主桁）【判定区分：　Ⅲ　】
写真 3 主筋、スターラップの破断（主桁01、径間2）	写真 4 広範囲に広がる鉄筋露出（主桁01、径間2）

状況写真（損傷状況）
〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の
〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造（主桁）【判定区分：　Ⅱ　】	上部構造（主桁）【判定区分：　Ⅲ　】
写真 5 広範囲に広がるうき（主桁01、径間2）	写真 6 鉄筋の断面減少（主桁02、径間2）
上部構造（横桁）【判定区分：　Ⅱ　】	**上部構造（床版）【判定区分：　Ⅱ　】**
写真 7 コンクリート打ち継ぎ目からの漏水（横桁03、径間2）	写真 8 広範囲に広がる剥離・鉄筋露出（床版01、径間1）

状況写真（損傷状況）
〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の
〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造（床版）【判定区分：　Ⅱ　】	下部構造【判定区分：　Ⅱ　】
写真 9 張出し部床版に橋面からの漏水が見られる	写真 10 橋面からの漏水（他橋脚漏水有）
下部構造【判定区分：　Ⅱ　】	【判定区分：　　】
写真 11 A2橋台：橋面からの漏水（A1橋台漏水有）	